

事業名	中小企業支援事業
-----	----------

総事業費	837 千円
------	------------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	企業支援

② 実施 (Do)

事業の意図		安定・向上する。
事業の実績 と 成果	取組内容	県特産品協会、中小企業団体中央会に負担金納付、特定中小企業者の認定（セーフティネット保証制度）作業、商工業振興利子補給補助金の公募と補助金処理などは商工会と連携、金融機関にも周知して、市内中小企業を支援する業務を行った。 あわせて、鹿児島県新型コロナウイルス関連緊急経営支援利子補助も行った。
	成 果	商工業振興利子補給補助金交付件数 14件 639,100円 鹿児島県新型コロナウイルス関連緊急経営支援利子補助 2件 26,600円

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	・令和2年からは新型コロナウイルス感染症の影響によるセーフティネットの認定等が増加しており、今後も関係機関と連携しながら市内事業者の資金繰り等の支援を検討していく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	持続的な企業活動を促し、雇用を確保しながら事業を行っていくために資金繰りは非常に重要である。本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、セーフティネットの認定申請が急増したことから、速やかに事務手続きが進むよう努めたところである。引き続き、金融機関をはじめ各関係機関と連携しながら支援を行っていく必要がある。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	セーフティネット保証の申請件数は減少している。利子補給補助金については新型コロナウイルス感染症の影響緩和のためにも本年度も引き続き周知・広報に努める。
-----------	---

【参考資料】	
※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	創業支援事業
-----	--------

総事業費	837 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	産業創出費
	基本事業名	企業支援

② 実施 (Do)

事業の意図		①創業の支援する ②経営力の強化を支援する
事業の実績 と 成果	取組内容	商工会や金融機関と連携した創業支援ネットワークにより、創業希望者に対して創業スクールを開催。
	成 果	創業者数 2件 - 金融機関・商工会団体・行政が連携し、創業者支援を実施するもので、今までになかった多面的サポート体制であり、具体的な創業に結びつきやすい。 - 金融機関との情報共有について検討を行った。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	- 創業スクールへの参加希望者が年々減少しており、どのようなサポート体制が必要かを毎年試行錯誤していく必要がある。 - 創業支援ネットワークが1回しか実施できておらず、市内の経済状況を把握するためにも随時開催し、情報共有に努める必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	創業者数の目標値には至らなかったが、コロナ禍にあつて新たに2件の創業に繋がったことは評価できる。創業希望者への多面的サポート体制により、創業の一助となっており、今後も商工会や金融機関等と連携を図りながら、継続した支援を行いたい。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	新型コロナウイルス感染症の影響により、市内事業者に大きな影響があることから、商工会及び金融機関と連携して実態の把握に努めるとともに、起業支援のセミナーのみならず、将来の起業への意識の醸成を図るため、小学生を対象としたセミナーにも取り組む。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	市民生活支援商品券配布事業
-----	---------------

総事業費	80,981 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	企業支援

② 実施 (Do)

事業の意図		①支援する ②応援する
事業の実績 と 成果	取組内容	今回の新型コロナウイルス感染症の影響による緊急的な対応として、市民を支援するとともに、地域経済を活性化するため市内で利用できる商品券に特産品のブランド化を推進するためのたねがしまるをデザインしたチケットとし、市民の方々に配付した。
	成 果	商店街の活性化のみならず、域内消費の活性化とともに市民が地域店舗を応援する機運を醸成することができた。 換金率98.5%

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	不在者等への配布
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、様々な対策を行う中で、緊急的な対応として生活支援とともに地域経済の活性化のために行った事業であり、全市民に平等に配布することで、一定の効果はあったと評価する。引き続き、状況を踏まえながら、効果的な事業を検討していく必要がある。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	令和2年度で終了。
-----------	-----------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	市民生活支援商品券「たねがしまるチケット」

総事業費	22,329	千円
------	--------	----

[illegible]

事業名	新型コロナをぶっ飛ばせ！歳末地域活性化プレミアム付商品券発行事業
-----	----------------------------------

総事業費	62,752 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	企業支援

② 実施 (Do)

事業の意図		①支援する ②応援する
事業の実績 と 成果	取組内容	今回の新型コロナウイルス感染症の影響による緊急的な対応として、プレミアム率50%の商品券を販売した。 (抽選販売) ・R2.11.10～11.25 募集 ・1世帯5セットまで購入 ・2,156世帯 10,183セット 応募あり (一般販売) ・R2.12.17 販売開始 R2.12.23販売終了
	成 果	換金率：99.7% 商店街の活性化のみならず、域内消費の活性化につながった。 市商工会への加入促進にもつながった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	公平な販売等
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、消費活動の促進を通じた市内事業者への支援として歳末期におけるプレミアム付き商品券の発行を行った。プレミアム率、発行総額ともに過去最大規模であり、停滞する地域経済に一定の効果があったと評価している。 経済循環における一種のカンフル剤的な意味合いもあるが、地元商店街側（特に小規模店舗）も誘客を工夫する等、相乗的な動きが増えれば、効果はさらに上がるものと思われる。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	令和2年度で終了。
-----------	-----------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	新しい生活様式に向けたキャッシュレス推進 市民支援事業
-----	--------------------------------

総事業費	10,695 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	企業支援

② 実施 (Do)

事業の意図			①支援する ②③促進する
事業の実績 と 成果	取組内容	今回の新型コロナウイルス感染症の影響による緊急的な対応として、Paypayが利用可能である市内店舗でポイント還元を行った。 ・ポイント還元率:20%（付与上限：1,000円/回、10,000円/月） ・第1弾ポイント還元期間:12月1日～12月31日 ・第2弾ポイント還元期間：3月1日～3月15日	
	成 果	利用可能店舗が増加し、非接触による感染防止にもつながった。 商店街の活性化のみならず、域内消費の活性化につながった。	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	他のキャッシュレスの推進 マイナポイントの周知
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	近年、商店街における買い物時の利便性を図るためキャッシュレス化を推進してきたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、消費者者側のニーズも高まりつつある。本事業では、緊急的ではあるが、Paypayが利用可能である市内店舗でポイント還元を行うことで、さらにキャッシュレス化が進み、さらに地域経済の活性化にも一定の効果はあったと評価している。今後も、キャッシュレス化をさらに普及させるための、手段を検討していきたい。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	令和2年度で終了。
-----------	-----------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	キャンペーンチラシ